

## C 協働学習 (C1)

主な学習活動

「生き物博士発表会」で、自分が伝えたい生き物について、「生き物の観察記録」を振り返りながら、グループで伝えることを話し合う。

### 1 本時のねらい

生き物について調べたことや分かったことから、友達に伝えたいことを考えることができる。

### 2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

授業支援

ファイル共有

### 3 参考にしてほしいポイント

飼育している生き物をタブレットで撮影してMetaMoji ClassRoomに記録しておくことで、本時で「伝えたいこと」を話し合う際に活用することができる。また、MetaMoji ClassRoomに「伝えたいこと」を書き込み、まとめながら話し合うことができる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
これまでの学習	生き物を観察し、写真や記録を残しておく。	MetaMoji ClassRoomに写真を撮って貼り付けたり、観察記録を書いたりすることで、短時間で多くの記録を残すことができる。
展開	「生き物の観察記録」を振り返りながら、グループで伝えることを話し合う。	多くの記録から、生き物について「伝えたいこと」を考え、グループで選択することができる。また、考えたことを視覚化しまとめながら話し合うことができる。



ぼくは、カマキリのオスとメスの見分け方を伝えたいな。

生きものをつたえ合おう!  
チームでつたえたいことを話し合おう!

ヤゴ  
足は6本 エサはミミズ  
おかしな中  
オスはおしりがとがっている。  
メスはおしりがとがっていません。  
色はちや色と黒色がはざたおな色です。

「伝えたいこと」の視覚化

### 4 活用効果

児童は、飼育している生き物に変化があると、タブレットで写真を撮り観察記録を書くことに意欲的に取り組むことができた。そうすることで、まず短時間で多くの記録を残すことができた。また、いつでも振り返ることができ、生き物の成長を実感しながら飼育することができた。

「生き物の観察記録」を振り返って、グループごとに「伝えたいこと」を話し合い、書き込んでいくことで、考えが視覚化され、伝える内容を確認しながら取り組むことができた。

### 5 アドバイザーからのコメント

生き物の観察記録の方法には、文章、写真、イラスト、動画など、いくつかありますが、その組み合わせで記録の方が記憶に残りやすいです。時間的な変化を見るためには、視覚的に表示される方が、分かりやすく、話し合いがしやすくなります。  
(東京工業大学 赤堀侃司)

蓄積したデータを見返して新たな学びにつなげることができるなど、デジタルポートフォリオの利点をいかせる実践例となっています。自身の発見を全校に伝えるというゴール設定も、ICTを活用した協働的な学びを生み出す原動力として大きな効果を与えているのが特徴的です。  
(福島大学 平中宏典)